

The 21<sup>st</sup> Meeting of Japan Histamine Research Society

# 第21回日本ヒスタミン学会

## 講演要旨集



*In TOKUSHIMA*

会期：2017年12月21日（木）～22日（金）

会場：徳島文理大学国際会議場

代表幹事：櫻井栄一 徳島文理大学薬学部薬剤学

協賛：公益財団法人 日本薬理学会、公益財団法人 日本薬学会

## 第 21 回日本ヒスタミン学会

会期：

2017 年 12 月 21 日（木）～22 日（金）

会場：

徳島文理大学国際会議場 2 1 号館 2 階

〒770-8514 徳島市山城町西浜傍示 1 8 0（徳島キャンパス）

参加費：

6,000 円（大学院生 3,000 円、学部生：2,000 円）

幹事会：

12 月 21 日（木）12 時 45 分より 2 1 号館 1 階会議室で行います。

懇親会：

12 月 21 日（木）18 時より、祥雲閣（学会場から徒歩 3 分）で行います。

参加費：6,000 円（大学院生、学部生：3,000 円）

アクセス：

徳島市バスは、JR 徳島駅から（南部循環）「左回り」または（ふれあい健康館）「山城町」行き 約 10 分 【文理大学前】下車

## 日本ヒスタミン学会役員名簿

### 会長

福井裕行 (徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部)

### 監事

亀井千晃 (安田女子大学薬学部)

大和谷 厚 (大阪大学名誉教授・特任教授、奈良女子大学特任教授、  
放送大学客員教授)

### 幹事 (五十音順)

赤木正明 (前徳島文理大学薬学部薬理学)

伊藤千裕 (東北大学大学院医学研究科)

稲垣直樹 (岐阜薬科大学薬理学)

大石了三 (前九州大学病院薬剤部)

大津 浩 (適寿リハビリテーション病院)

大野 勲 (東北医科薬科大学病態生理学教室)

大森健守 (横浜薬科大学薬理学)

小澤光一郎 (広島大学大学院医歯薬学研究科治療薬効学)

小野寺憲治 (てんかん専門病院ベーター)

金丸みつ子 (昭和大学医学部生理学講座生体調節機能学部門)

川内秀之 (島根大学医学部耳鼻咽喉科)

川崎博己 (松山大学薬学部)

河野茂勝 (京都薬科大学薬理学)

櫻井栄一 (徳島文理大学薬学部薬剤学)

櫻井映子 (いわき明星大学薬学部)

櫻田 忍 (東北医科薬科大学名誉教授)

笹栗靖之 (産業医科大学第2病理学)

高橋英夫 (近畿大学医学部薬理学)

竹村基彦 (兵庫医科大学薬理学)

田代 学 (東北大学サイクロトロン・RI センター サイクロトロン核医学)

田中智之 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科免疫医薬品化学分野)

西堀正洋 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科薬理学)

服部裕一 (富山大学大学院医学薬学研究部分子医科薬理学)

原田 保 (川崎医科大学名誉教授)

樋口宗史 (新潟大学医歯学総合研究科・分子細胞医学・薬理学教室)  
菱沼 滋 (明治薬科大学薬効学)  
秀 道広 (広島大学大学院医歯薬保健学研究科皮膚科学)  
平澤典保 (東北大学大学院薬学研究科生活習慣病  
本間生夫 (昭和大学医学部第2生理学)  
前山一隆 (愛媛大学名誉教授)  
見尾光庸 (就実大学薬学部薬効解析学)  
森 秀治 (就実大学薬学部生体情報学)  
谷内一彦 (東北大学大学院医学研究科機能薬理学)  
山内広平 (医療法人松誠会 滝沢中央病院)

〈事務局担当〉 櫻井映子

〒970-8551 福島県いわき市中央台飯野5-5-1

いわき明星大学薬学部

TEL: 0246-29-5329

E-mail: [eikos-im@iwakimu.ac.jp](mailto:eikos-im@iwakimu.ac.jp)

〈HP担当〉 見尾光庸

〒703-8516 岡山県岡山市中区河原-6-1

就実大学薬学部

TEL&FAX: 086-271-8354

E-mail: [mio@shujitsu.ac.jp](mailto:mio@shujitsu.ac.jp)

## 参加者へのご案内

### 1. 受付

会場（21号館2階「国際会議場」）の前受付で、参加費をお支払いいただき（今回はすべて当日支払いです）、ネームカード入りのホルダー、領収書と講演要旨集をお受け取りください。

参加費：6,000円（大学院生3,000円、学部生：2,000円）

### 2. 懇親会

21日（木）の講演終了後、18:00より祥雲閣（学会場から徒歩3分）にて行います。

受付の際に参加費：6,000円（大学院生、学部生：3,000円）をお支払いください。

### 3. 幹事会

21日（木）の12:45より21号館1階会議室で行います。

### 4. ドリンクサービス

会場下1階にドリンクコーナーを設けてあります。ご利用ください。なお、会場内はすべて飲食・禁煙ですので、ご協力お願いいたします。

## 発表者へのご案内

### 1. 講演時間

Young Investigator Session、一般講演 発表10分、質疑応答5分です。

特別講演 発表50分、質疑応答10分です。

### 2. 発表形式

① パソコンとプロジェクターを用いた発表に限らせて頂きます。

② 会場にはWindows 7.1をインストールしたノート型パソコンに、発表用ソフトウェアのMicrosoft Power Point 2016をインストールして用意しております。ご自身の発表用ファイルはUSBフラッシュメモリーに保存してご持参ください。

③ 当日、受付時またはご発表前の休憩時間にパソコンにコピーして動作確認をお願いいたします（発表後はこちらで責任をもって消去いたします）。

④ 他のOSあるいは他のバージョンのMicrosoft Power Pointを使用されたい方やMacの場合はRGB用コネクターもご持参ください。

⑤ スライドの操作はご自身で行っていただきます。

# プログラム

12月21日(木)

12:40 開場、受付開始

12:45 幹事会

13:25 開会の挨拶

## Young Investigator Session

13:30 - 14:45

発表された先生は次演題の座長をお願いします。

13:30 Y1 樹状細胞におけるヒスタミン産生誘導とその機能の解析

○古田和幸<sup>1)</sup>、大野恵理子<sup>2)</sup>、田中智之<sup>1)</sup>  
(岡山大・院医歯薬<sup>1)</sup>、岡山大・薬<sup>2)</sup>)

13:45 Y2 トラニラストに見出された新規アレルギー抑制機構

○澤田明歩<sup>1)</sup>、水口博之<sup>2)</sup>、北村嘉章<sup>3)</sup>、藤野裕道<sup>1)</sup>、福井裕行<sup>1)</sup>、武田憲昭<sup>3)</sup>  
(徳島大学・薬<sup>1)</sup>、大阪大谷大学・薬<sup>2)</sup>、徳島大学・医<sup>3)</sup>)

14:00 Y3 ヒト・ヒスタミン H<sub>1</sub> 受容体の機能制御における荷電アミノ酸残基の役割

○塚本速人、山本僚祐、菱沼 滋、庄司 優  
(明治薬大・薬効)

14:15 Y4 皮膚アレルギーの病態におけるニューロメジンUの役割解明

○松尾佳美<sup>1)</sup>、柳瀬雄輝<sup>1)</sup>、田中智之<sup>2)</sup>、古田和幸<sup>2)</sup>、秀道広<sup>1)</sup>  
(広島大学大学院医歯薬保健学研究所 皮膚科学<sup>1)</sup>  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科(薬学系)生体応答制御学分野<sup>2)</sup>)

14:30 Y5 マウス肺微小血管内皮細胞による透過バリアーの形成とその制御に関するヒスタミンの役割について

○井上知佳<sup>1)</sup>、上田ゆかり<sup>1)</sup>、武内琴美<sup>1)</sup>、谷野公俊<sup>1)</sup>、櫻井映子<sup>2)</sup>、櫻井栄一<sup>1)</sup>  
(徳島文理大・薬<sup>1)</sup>、いわき明星大・薬<sup>2)</sup>)

14:45 - 15:00 休憩 (15 min)

## 一般講演

セッション1 15:00 – 15:45

座長 吉川雄朗（東北大学大学院医学系研究科）

山本浩一（大阪大院・医・保健）

15:00 0-1) 抗がん剤誘発食欲不振発症におけるヒスタミン<sub>H4</sub>受容体の役割

○山本浩一<sup>1)</sup>、奥井陸也<sup>1)</sup>、石田隆行<sup>1)</sup>、大和谷 厚<sup>2)</sup>

（大阪大院・医・保健<sup>1)</sup>、大阪大・名誉教授<sup>2)</sup>）

15:15 0-2) ヒスタミン3型受容体インバースアゴニストはミクログリア機能を抑制しうつ様行動を改善する

飯田智光、○吉川雄朗、谷内一彦

（東北大学大学院医学系研究科機能薬理学分野）

15:30 0-3) Spermine 脊髄クモ膜下腔内投与誘発疼痛関連行動の発現メカニズム

○櫻田忍<sup>1)</sup>、林貴文<sup>2)</sup>、渡辺千寿子<sup>1)</sup>、溝口広一<sup>1)</sup>

（東北医薬大・薬・機能形態学<sup>1)</sup>、東北医薬大・薬・薬剤学<sup>2)</sup>）

15:45 – 16:00 休憩（15 min）

## 特別講演1

16:00 – 17:00

座長 服部裕一（富山大・医）

16:00 心腎病態の抗炎症遺伝子発現プログラミング

深水昭吉

（筑波大学 生命領域学学際研究センター）

17:00 – 17:10 休憩（10 min）

## 一般講演

セッション2 17:10 – 17:40

座長 菱沼 滋（明治薬大）

17:10 0-4) 機能性G蛋白質共役型受容体の大量合成：アソレクテングリセロソーム膜上に合成したヒトヒスタミンH1受容体の薬理的検討

○鈴木康之、前山一隆

（愛媛大・医）

17:25 0-5) マウス脾細胞の IFN- $\gamma$  産生のヒスタミン受容体アンタゴニストによる抑制

亀井美穂<sup>1)</sup>、古田和幸<sup>1)</sup>、中村正帆<sup>2)</sup>、谷内一彦<sup>3)</sup>、○田中智之<sup>1)</sup>

(岡山大・院医歯薬<sup>1)</sup>、東北医薬大・医<sup>2)</sup>、東北大・院医<sup>3)</sup>)

18:00 懇親会 (祥雲閣) (学会場から徒歩 3 分)

12月22日(金)

9:00 受付開始

一般講演

セッション3 9:15 - 10:00

座長 鈴木康之(愛媛大・医)

谷野公俊(徳島文理大・薬)

9:15 0-6) RBL-2H3細胞からのヒスタミン遊離に対する小胞体ストレス応答の関与

○小澤光一郎<sup>1)</sup>、垣本 真衣<sup>1)</sup>、細井 徹<sup>1)</sup>、三野 恵実<sup>2)</sup>  
(広島大・院・医歯薬保<sup>1)</sup>、広島大・薬<sup>2)</sup>)

9:30 0-7) L-アスパラギナーゼアレルギーによるRBL-2H3肥満細胞活性化と抗IgE抗体の抑制作用

○見尾光庸<sup>1)</sup>、原(野上)愛<sup>1)</sup>、半田 愛<sup>1)</sup>、光畑知恵<sup>1)</sup>、梶山光司<sup>1)</sup>、  
神田翔磨<sup>1)</sup>、須々木健太郎<sup>1)</sup>、嶋田 明<sup>2)</sup>  
(就実大・薬<sup>1)</sup>、岡山大学病院・小児血液腫瘍科<sup>2)</sup>)

9:45 0-8) I型アレルギー疾患の新たな薬物代謝酵素不活性化に関わる誘発メディエーターとサイトカインの探索

○谷野公俊、板東 徹、野尻幸江、岡田祐奈、上田ゆかり、櫻井栄一  
(徳島文理大・薬)

10:00 - 10:15 休憩 (15 min)

特別講演2

10:15 - 11:15

座長 福井裕行(徳島大・薬)

10:15 アレルギー性鼻炎の疫学と治療—特にスギ・ヒノキ花粉症について—

原田 保  
(川崎医科大学 名誉教授)

11:15 - 11:25 休憩 (10 min)

Michael A Beaven 先生メモリアルセミナー

11:25 - 12:25

座長 前山一隆 (愛媛大・名誉教授)

11:25 Michael A Beaven 先生 in Histamine World

前山一隆

(愛媛大 名誉教授)

11:45 Mike から学んだこと ~師として、人として~

小澤光一郎

(広島大・院・医歯薬保)

12:05 Michael A Beaven 先生を偲んで —MAP kinase とステロイド研究—

平澤典保

(東北大・院薬)

12:25 - 12:40 総会 / Closing